

高校生世代の医療費無償化を

町長 制度の現状維持

近隣市町の実施状況、財政、医療費、住民サービスのバランスを総合的に判断し、子育て世代の負担を軽減する施策は重要である。



◆早崎百合子 議員

問 西濃地域の現状は。

答 自治体11市町の内、6市町が実施。

問 当町での今後の方向性は。

答 制度の現状維持を考えている。

問 検討すべき課題は。

答 行財政の効率化を図りつつ、町民が安心して生活できる制度作りを検討する。

子ども医療費助成事業市町村実施状況（平成31年4月1日現在）

市町村名 (西濃11市町)	大垣市	海津市	養老町	垂井町	関ヶ原町	神戸町	輪之内町	安八町	揖斐川町	大野町	池田町
対象者(入外来) 高校生 (18歳年度末まで)	○				○	○	○		○		○

人口減少への明確な対応策は

町長 住民目線で各種施策を

人口減少対策は地方創生に関する諸施策の中でも、積極的に取り組む必要性が指摘されている。経済・教育・生活環境等の総合的な施策展開が町の独自性の元で実施されるものと期待している。

問 人口減少対策の詳細は。

答 町外からの移住促進を目的とし、I・J・Uターン世代の住宅取得を支援する「若者定住マイホーム取得支援事業補助金」、次代を担う子を家族全員で大切に育てる事をねらいとした「二世世代ハッピースマイル事業補助金」、さらには「空き家利活用促進事業補助金」を創設した。

答 企業誘致、観光振興、教育の充実、地域自治町民会議の設立など、まちづくりの充実を図り、全町民が心豊かに幸福度の高い生活を安心して送ることができるよう努める。

問 各種施策を押し進めていくために、どのようなPR(啓発活動)を実施するのか。

答 広報「養老」や町ホームページに記載すると共に庁舎内での連携を図り、対象となる可能性がある方への通知・案内を実施していく。

問 町長が思い描く養老町の輝かしい未来像は。

旧池辺町民体育館は旧池辺小学校の体育館として使用され、移転後は町民体育館として利用されてきた。老朽化と耐震不足で平成27年4月閉鎖された。

町長 各団体一体で問題に取り組む

五三川の釣り対策は

五三川のパス釣りは東海地区最大級の釣り場として年間10万人以上の釣り客があり、環境問題が発生している。

問 悪質な駐車やゴミ問題が発生し、地元が大変迷惑をしている。対策は。

答 警察署主導により「五三川周辺釣り客苦情対策会議」を開催した。対策の環境として、交差点等に注意喚起の看板等の設置を検討している。ゴミ対策としては、年5回の環境美化活動を実施、また釣り人主体の清掃活動も年々回実施。不法投棄対策としては町環境パトロール事業

で月2回の巡回監視をし、啓発を図っている。

問 地域、漁協、警察、行政との連携と今後の対策は。

答 対策会議を継続的に実施し、地元の要望に対処できるような地域、漁協、警察、行政が一体となり、取り組んでいく。

旧池辺町民体育館の解体は

町長 早急に検討する



旧池辺町民体育館

問 閉鎖後の管理責任と、平成28年度予算で解体の設計予算が執行されているが、解体費用と予算の見直しは。また解体はいつか。

答 養老町スポーツ連盟へ年間業務委託をし、月2回の定期点検をしている。解体費用

は平成28年度の設計金額で1610万218円だが、解体年度に合わせ見直しは必要である。風水害による二次災害も懸念されるので、早急に解体を検討する。

問 旧池辺町民体育館の総面積と解体後の利活用は。

答 町有地総面積は2685.76㎡。地元の要望や町財政事情を総合的に勘案し、有効な活用方法を検討していく。



◆松永 民夫 議員